

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	こどもプラス豊見城教室別館			公表日	令和 8年 4月 30日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境 制 運 備 営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	2	1	必要に応じて絵カード等を作成しています。	訪問先の環境や児童の特性に応じた教材をより充実させるため、必要に応じて教材の見直しや追加を行い、より効果的な支援が行えるよう改善していきます。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	0	訪問担当の職員を複数人配置し、分担して担当する等の配慮しています。	訪問支援の利用状況に応じて、職員配置のバランスを確認しながら、安定した支援体制を維持できるよう継続して体制整備を行っています。
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2	1	事業所の他職種に意見を求めて対応する事もあります。	職員全体がより主体的に業務改善に参加できるよう、定期的な振り返りや意見交換の機会を増やし、改善内容を共有する体制づくりを進めています。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0	昨年度から保護者様向け評価表を活用し、情報共有や支援内容について改善を図っています。	保護者様からのご意見をより具体的に業務改善へ反映できるよう、職員間で共有する仕組みを整え、改善内容の検討を継続していきます。
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	1	保等のみ利用している児童の情報共有は密に行う必要性を感じ、訪問担当職員でのミーティングを定期的に行っています。	職員の意見や気づきをより業務改善に活かせるよう、面談、ミーティング等の機会を活用しながら、意見交換や情報共有を充実させていきます。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	2		外部評価を受ける機会はないため、機会を設けて、客観的な意見やアドバイスを業務改善につなげていきます。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	0	こどもプラスホールディングス本部より、療育に関する研修動画の配信が毎月あります。また、会社内でのミーティングや勉強会も適時開催されています。	
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	3	0	訪問先、児童や保護者様のニーズを確認しながら、状況や課題に合わせて計画書を作成しています。	アセスメントの精度を高めるため、訪問先や保護者様との情報共有をより丁寧に行い、児童の状況を多角的に把握した支援計画の作成に努めています。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	0	訪問担当職員と児童発達支援管理責任者で計画書に基づいた支援方法を検討しています。	関係職員間での情報共有や検討の機会をさらに充実させ、より多角的な視点から支援計画を検討できる体制づくりを進めています。
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	3	0	事前にミーティングの機会を設け、訪問先の先生や保護者様と話し合いを持ち、計画書を作成しています。	訪問先施設との連携をさらに深めるため、事前の情報共有や支援後の振り返りの機会を充実させていきます。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	1	初回や更新の時期に合わせて、共有を密に行っていく必要を感じています。適時、訪問担当職員同士での共有を図っています。	支援計画の内容を職員間でより確実に共有できるよう、ミーティングや記録を活用した情報共有の仕組みを強化していきます。
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	0	標準化されたツールを活用したり、報告書のフォーマットを使い行動観察を記録しています。	標準化されたアセスメントツールの活用方法について、職員間で理解を深めながら、より適切な評価につなげていきます。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	3	0	ガイドラインを活用して支援内容を設定しています。	ガイドラインを踏まえながら、より具体的に実践的な支援内容となるよう、計画作成時の検討を丁寧に行っています。
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	1	報告書を作成する際など、都度計画書を確認して支援内容について共有を図っています。	支援計画に基づいた支援が確実に行われるよう、職員間での確認や振り返りの機会を充実させていきます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	1	職員間で、必要に応じて、支援方法や評価について、相談やアドバイスなどを行っています。必要に応じて同行するなど、連携して支援を行っています。	訪問前の情報共有や役割確認をより丁寧に行い、チームで連携した支援が実施できるよう改善していきます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	0	訪問支援と通所を同事業所で利用している場合にはその日の終礼で共有しています。都度、訪問後に職員間で情報共有を行っています。	支援終了後の振り返りや情報共有の機会を継続して設け、支援の質の向上につなげていきます。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	3	0	訪問先の支援内容などを尊重し一緒に支援方法を検討しています。	訪問先施設の支援方針や理念を十分に理解した上で、より円滑な連携が図れるよう関係づくりを進めています。
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	3	0	訪問支援を行った際には、様子観察や支援による変化、前回との比較などを記録し、報告書としてまとめて検証や改善に繋げています。	記録内容の充実を図りながら、支援の検証や改善につながるよう職員間での共有を強化していきます。	

関係機関や保護者との連携	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	0	訪問毎に訪問先や保護者と情報共有を図り、モニタリング時には訪問先や保護者と意向を確認し、状況に合わせて計画書を見直しています。	保護者様や訪問先施設との意向確認を継続的にを行い、必要に応じて支援計画の見直しが適切に行えるよう体制を整えています。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	0	訪問担当職員や児童発達管理責任者が参加しています。	関係機関との会議において、より具体的な情報共有が行えるよう、事前準備や共有体制を整えています。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	0	会社内に、保育所等訪問の担当者を置き、地域の連絡会などに参加し連携して支援を行えるように体制を整えています。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	0	移行がスムーズにでき訪問支援が途切れないように相談支援事業所や他事業所等の関係機関と連携を図りながら、情報共有を行っています。	就学時の移行がより円滑に行えるよう、学校や関係機関との情報共有を引き続き丁寧に行ってまいります。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2	1	必要に応じて研修に参加しています。	外部専門家からの助言や研修機会を積極的に活用し、支援の質向上につなげていきます。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2	1	自立支援協議会の開催する連絡会には参加を推奨し、情報共有を図っています。	地域の協議会や会議への参加機会を確認しながら、可能な範囲で積極的に参加していきます。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	0	訪問支援を行った際には、公式LINEを活用しその日の様子を報告し後日訪問報告書にて説明しています。	保護者様との情報共有をより丁寧に行い、児童の状況や支援内容について共通理解を深めていきます。
保護者等への説明等	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	2	ペアレント・トレーニングは行っていないが、家族支援として面談を行ったり、情報提供を行っています。	今後、保護者様の対応力向上に役立つ、研修会の案内や情報提供を図ってまいります。
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	0	契約時に丁寧に説明させていただいています。	契約時の説明だけでなく、必要に応じて改めて説明する機会を設けていきます。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	3	0	訪問前の会議の際や、情報共有時に都度、説明させていただいています。	訪問先施設との情報共有を丁寧に行い、訪問支援の目的や役割について理解を深めていただけるよう努めてまいります。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	0	保護者様や児童の意見を考慮し作成しています。	児童や保護者様の意向をより丁寧に確認し、支援計画に反映できるよう取り組んでまいります。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	3	0	支援計画と一緒に確認しながら保護者様からの同意を得ています。	支援内容の説明をより分かりやすく行い、保護者様が安心して支援を理解できるように工夫してまいります。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3	0	家族支援として都度、面談を行っています。	保護者様が相談しやすい環境づくりを意識し、継続して相談支援の充実を図ってまいります。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	2		保育所等訪問での父母会は検討していませんが、希望者に応じて検討していきます。
	33	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	0	相談や申し入れに関しては、管理者を通して迅速に対応し、必要に応じて事業所内でミーティングを持って対応しています。	相談や申し入れに対して迅速かつ適切に対応できる体制を維持し、職員間での共有を徹底していきます。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	1		通所の様子はブログや定期的に配信していますが、訪問の様子は配信したことがないので、保護者様の要望に応じて、活動内容の配信も検討します。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	0	個人情報には十分留意して対応しています。	個人情報保護について、職員間での意識向上と管理体制の確認を継続して行っていきます。
36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	0	電話や公式LINEを活用し、いつでも連絡が取れる、情報共有が図りやすい体制を作っています。	保護者様や関係機関との情報伝達方法について、より分かりやすい方法を検討しながら対応していきます。	
訪問先施設への	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	3	0	訪問支援後には、共有する時間を設けてもらい、また、報告書の提出時など、必要に応じて助言や支援を行っています。	訪問先施設との関係性を大切にしながら、相談や助言の機会を引き続き確保していきます。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2	1	訪問支援後に担当の先生と情報共有を行っています。	訪問後の振り返りやカンファレンスの機会を確保し、支援の質向上につなげていきます。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	3	0	公式LINEにてその日の様子を報告したり、後日報告書をお渡ししています。	支援内容の共有方法を工夫しながら、保護者様が児童の様子を理解しやすい情報提供を行ってまいります。

説明等	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	0	個人情報には十分留意して対応しています。	個人情報の取扱いについて、今後も職員への周知と確認を行いながら適切に管理していきます。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	3	0	訪問先の先生の相談には適切に応じ、意見等も真摯に受け止め、関係を築きながら支援を行っています。	訪問先施設との連携をさらに深め、必要に応じた専門的助言が行える体制を維持していきます。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	1	有事の際に対応できるように事業所内にて常備しています。	訪問時の訓練は行っていない為、訪問先での有事の対応についても検討していきます。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	0	安全計画を作成・適宜見直しを行い更新しています。	安全計画は作成しているものの、職員全体への周知や具体的な運用の確認を定期的に行い、実際の支援場面において確実に活用できるよう見直しを継続していきます。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	0		訪問支援でのヒヤリハットは現時点では特にはないですが、情報共有や再発防止に向けた対応を備えています。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	0	定期的な研修を行い、虐待防止に向けた適切な対応を行っています。	虐待防止に関する研修を継続して実施し、職員の理解を深めながら、適切な支援が行えるよう体制の充実を図っていきます。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	0		現在該当児はいませんが、該当児が利用する場合には児童や保護者様に事前に十分に説明し、支援計画書に身体拘束を行う旨を記載していきます。